

事務事業名		市田柿生産体制強化支援事業		会計		一般会計		実施区分				
H28担当課等名		農業課		H28係等名		生産振興係		H27係等名		生産振興係		
基本計画上の位置づけ		政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり								
		施策	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化								
目的	対象(誰・何を)	市田柿		対象指標	指標名及び単位			27年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	生産(栽培・加工)体制を強化する。			市田柿生産者数(戸)(農林業センサス2015)			1032				
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円										
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	特認生産者認定数(累計戸数)			40	39	45	45				
	成果指標	市田柿栽培面積(ha)(下伊那全域)			492	492	495	495				
定性目標												
事業概要	<p>南信州地域の財産である市田柿の生産基盤を強化するため生産団体、関係機関と連携して次の取り組みを進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新たな担い手育成 新規就農者、リタイア就農者育成支援</li> <li>産地をけん引する中核的農家育成 特認生産者強化育成支援</li> <li>品質向上と効率化の推進 中小規模農家営農継続支援</li> <li>遊休化する園地を繋げる支援</li> </ol>											
事業内容					名称			活動指標				
27年度事業内容	1 生産体制強化 (1)苗木導入補助 (2)園地拡大補助				1 (1)苗木導入本数 (2)新規整備面積			1 (1)1,730本 (2)10.5a				
	2 加工体制の強化 (1)衛生管理・規模拡大のための加工施設整備支援 対象:パイプハウス、吊り棚、選果機、除湿機等				2 (1)施設整備数 (2)機器導入数			2 (1)122施設 (2)9台				
	(2)衛生管理・品質向上のための機器導入支援 対象:吸引式皮むき器等				3 特認生産者数			3 5人				
3 中核的生産農家(特認生産者)の育成と支援												
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		24,581	12,089	11,892	11,675							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		24,581	12,089	11,892	11,675							
人件費計(千円)②		3,022		1,438								
正規職員所要時間		845		402								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		27,603	12,089	13,330	11,675							
事業内容・目標達成状況の振り返り		特認生産者認定制度の認定者数が計画と同程度となっており、生産規模の拡大と品質の向上、ブランド維持に向けた支援を行うことができた。またH28年度完全脱針化に向けて脱針式皮むき機の導入も進んでいる。需要に応える生産基盤を強化するため、中核的農家の育成支援、中小農家の営農支援、更には新たな担い手育成のための支援が必要である。										
改革改善の考え方	①問題点	新たに昨今の異常気象に適した、栽培、加工技術の対応が必要になっており、中小規模農家の生産意欲向上につながる更なる支援が必要である。										
	②改革提案	引き続き、省力化や効率化を図る設備導入とともに異常気象に備えた加工設備の導入資金の支援制度の検討を行う。また中核的農家には規模拡大の資金補助や遊休化する園地の斡旋を行う。										